

台風シーズンがきました



本年も梅雨が明けて、台風が4号・5号と襲来し、被害をもたらしています。

台風が発生して日本に近づくと、「台風情報」がテレビやラジオ、新聞などを通して発表されます。

その情報を注意深く見て、聞いて、その都度判断するようにして台風の被害を最小限に抑えましょう。

台風の豆知識

「台風」とは...

熱帯の海上で発生する低気圧のうち、東経180度から西の北太平洋で発達し、中心付近の最大風速がおよそ毎秒17m以上になったものを「台風」と呼びます。

なお、台風は活発な積乱雲が多数集まったもので、強い雨を広い範囲に長時間にわたって降らせることから、風と同様に大雨にも十分注意しましょう。



■台風の「強さ」・「大きさ」

台風の強さは、中心付近の最大風速で分類されます。

最大風速 (m/秒)	強さの表現
17以上 33未満	表現しない
33以上 44未満	強い
44以上 54未満	非常に強い
54以上	猛烈な
(風速は10分間の平均風速)	

台風の大きさは、風速15m以上の強い風が吹く範囲の広さの半径で分類されます。

強風域の半径	大きさの表現
500km未満	表現しない
500km以上 800km未満	大型 (大きい)
800km以上	超大型 (非常に大きい)

■台風がやってくる前に...

台風が接近してから屋外へ出るのは大変危険です。

台風情報をこまめに確認して、早めの対策を取りましょう。

①窓や雨戸はしっかりと鍵を掛け、必要に応じて外から棧を打ち付け補強しましょう。

②風で飛ばされやすいものは、室内に移動させるか固定しましょう。

③貴重品や非常用持ち出し品、2〜3食分の食事と飲み物を準備し、早めの避難に心掛けましょう。



■台風や大雨が去った後は...

台風や大雨が去った後は危険が潜んでいます。地域ぐるみで協力し合い、安全点検を行いましょう。

①被災後は、市職員が災害調査を実施します。安全を確認し、けがなどをしないよう注意しながら被害の確認を行いましょう(住宅・倉庫・道路など)。

②切れた電線や低く垂れ下がっている電線を見つけたら、絶対に触らないで、左記の問合せまでご連絡ください。

●問合せ 九州電力(株)川内営業所
☎012019861802

③落下や倒壊の危険物がないか確認しましょう。あればすぐに、補強や除去を行います。

④浸水の被害に遭った場合、消毒を念入りに行ってください。

⑤家の中は風通しを良くして乾燥させましょう。

⑥けがをしないように、肌を露しなない服装で活動しましょう。

